

【特別（とくべつ）な読（よ）み方（かた）の漢字（かんじ）にチャレンジしよう】

これは実話です。

あるアナウンサーが、ある原稿を次のように読んだそうです。

「旅人（たびびと）が、旧中山道を歩（ある）いていきました。」

これを 「旅人がいちにちじゅうやまみちをあるいていきました」と。

「え～、どこが…。」と思（おも）う人（ひと）もいるかもしれません。歴史（れきし）にくわしい6年生（ねんせい）なら気（き）が付（つ）いたでしょうか？

「中山道」と書いて、江戸時代（えどじだい）の5街道（かいどう）の一（ひと）つ「なかせんどう」と読（よ）むのですね。

「山」（やま）という漢字を「せん」という読み方はないのですが、地名（ちめい）や人名（じんめい）などこのように特別（とくべつ）の読み方をすることがあります。

では、いくつか問題（もんだい）を出（だ）しますので、答（こた）えてください。

まずは、ウォーミングアップから

「今日」→ 「明日」→ 「明後日」→

少（すこ）し難（むずか）しくなります

「果物」→ 「上手」→ 「笑顔」→

かなり難しい問題です。

「土産」→ 「素人」→ 「名残」→

ここにあげたもの以外（いがい）にもいっぱいあるので、探（さが）してみてください。